

2015年度 英語部会研究計画

I. 研究の概要

1. 研究主題

コミュニケーション能力の育成をめざす授業の創造
～積極的にコミュニケーションする態度を養うために

2. 研究の目的

○英語学習の目的

聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養い、世界の人々との理解・連帯を進められるような態度の育成を図る

○今日的課題

- ・国際社会に生きる日本人としての資質、能力の育成
- ・石狩の子のための教科指導の専門性の向上
- ・学習方法（指導方法）の工夫
- ・よりよい評価をするための教員の研修
- ・小学校外国語活動との連携
- ・英語を通しての平和・環境・人権学習

2015年度

石教研専門部会研究基本姿勢

「チーム一丸～石狩の歴史と伝統を受け継ぎ、全員の手で、進んで行動できる子どもを育てよう！」

専門部会テーマ

取り組むべき視点を明確にした日常実践のさらなる充実

研究の経過

2015年度は中学校1学年、小学校1学年の公開授業およびテーマ別学年別分科会による討議、ワークショップによる実践研修、理論・実技研修会（夏季、冬期の2回）、新入会員研修等を実施

3. 研究仮説

英語教育における、確かな学力の定着を図る学習指導のあり方、生徒の学習意欲が向上する評価の方法について研究する。小学校は「聞くこと」「話すこと」、中学校ではそれらに「読むこと」「書くこと」を加えた4技能をバランスよく総合的に育成することを意識した授業を構築することで、英語で積極的にコミュニケーションを図る態度を育成することができる。

4. 研究内容

- ①研究内容1 『つまづき解決のための学習支援、学習訓練の工夫』
- ②研究内容2 『生徒の学習意欲が向上する適切な評価の在り方、単元テストや課題の設定方法』
- ③研究内容3 『教材・教具や場面設定の工夫、英語での言語活動の充実』
- ④研究内容4 『小学校外国語活動と中学英語の連携、課題と解決策の交流』
- ⑤研究内容5 『小学校外国語活動の実践交流、小学校外国語活動における課題と解決策の交流』

5. 研究方法

- ① 各市町村の研究推進委員会を中心に、管内の共同研究と連携を保ち、主体的な研究を推進する。
- ② 専門二次研究協議会では公開授業を行い、課題解明のための討議の材料とする。研究内容を学年の実態に応じてさらに深めるために内容別（学年別）分科会を構成して課題解決のための研究交流を行う。さらにワークショップを実施し、全員の英語力、英語指導力の向上を図るために実践の交流活動を行う。
- ③ 理論・実技研修会を開催し、研究を深めるとともに、日常の授業実践に役立てる。
- ④ 石教研英語部会情報誌「石英」を発行する。
- ⑤ テーマに基づき、部会員の実践資料を募り、「実践資料集」を発行する。
- ⑥ 石狩の「教育課程」の実践・検証を進める。
- ⑦ 小学校外国語活動小委員会の活動を充実させ、小学校外国語活動の交流と、小中の英語教育の有効な連携を図っていく。